

図書館だより

ノートルダム学院小学校

時を忘れて読書に夢中!!

2017.11.1 (水)

No.7



©dak

読書の秋です。みなさんは
どんな本を楽しんでいますか？



10月27日から11月9日までは、

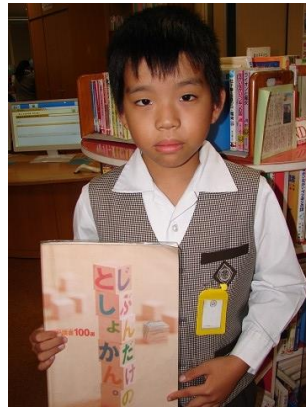
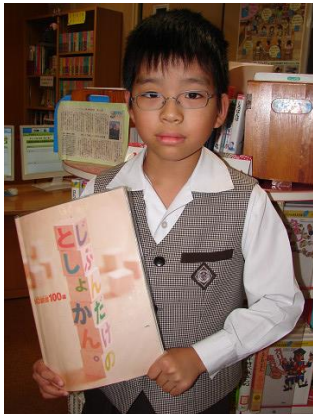
読書週間です。この週間のシンボルマークはフクロウです。漢字では、『梟』。木の上にすくと立つ鳥と書きます。ほかには、幸福を呼んでくれる鳥と言われて『福籠』（福が入っているかご）『不苦勞』（苦勞を知らない）とも書かれるようです。古代ギリシア神話では、フクロウが知恵の女神ミネルヴァの使いだったことから知恵、芸術の鳥、幸福を呼びはん栄をもたらしてくれるえんぎの良い鳥として親しまれています。森の奥深くで静かにめい想にふけるフクロウの姿を想像してみてください。

あなたも、集中しやすいこの季節に、
たくさんの本を読んで、自分のお気に入り
の一冊を見つけてみてはいかがでしょうか
でしょうか？



ND読書100選読破、おめでとう!!

『子どもたちに読ませたい本』として、教員たちが選んだ 100 冊の本『ND 読書 100 選』を全部読んだ人は、2 年前に現在 6 年生になった大場まりんさんと大西花音さんの 2 人がいます。それからなかなか 100 冊読破する人がいなかったのですが、今回 2 人が全部読み終わりました。



4 年生男子二人です。 **100 冊達成 おめでとう !**

次はだれが 100 選読破できるでしょうか。がんばってください !!

この本読もう 『火の鳥』

齋藤隆介 作 滝平二郎 絵

まず のうそん あきた むかしばなし さい しょうじょ し はは か いもうと せ わ
貧しい農村。秋田の昔話。12歳の少女あさは、死んだ母の代わりに妹の世話をし
ていた。家の仕事もある。火の鳥が現れるとその年は飢饉になるという。今年も現れ
た。村の百姓たちは火の鳥を恐れている。あさは、かんざしを
もって火の鳥を退治しようと決心する。もう自分は子どもではな
い。自分に出来ることがあるはず。そんな決心だ。あさは大森山
に登り、火の鳥に立ち向かう。攻撃をかわしながら、かんざし
を鳥の目に刺し、退治する。身体的にかなわなくとも、弱点を
うまくつけば勝利できる。それは知恵だ。勇気と知恵が村の精神
であることを伝える。



発行所 岩崎書店